



社会福祉法人 明和会 陽だまりの里
 編集・発行責任者 井上 明秀
 〒834-0015
 福岡県八女市本2575-1
 TEL:0943-30-3055

平成27年10月31日「ほのぼのフェスタ」
 バルーンリリースの様子



職員紹介



カーサ陽だまりの里
 部長
 濱崎 円子 (年女)

Q1 仕事内容は？
 カーサ(施設入所支援・生活介護)の部長をさせていただいています。

Q2 何年目ですか？
 入社15年目になりました。

Q3 仕事をしていて一番楽しい時は？
 目標を達成した時。利用者様、職員、私自身、チーム等、それぞれ大きい目標、小さい目標、常に何かあると思います。小さなイベントでも役割を任せられ、それをやり遂げた時の利用者様の表情は輝いています。職員も同様でチームになればもっと大きいと感じます。

Q4 趣味は？
 ミニバレー、ガーデニング、フラワーアレンジ、押し花。最近では漬物作りにもはまっています。旅行、読書、山登り、やりたい事は沢山ですが、時間がな～い！

Q5 新年を迎え年女ですが、今年の抱負は？
 若いつもりでいましたが、還暦です。リセットして新たな気持ちで歩き始めようと思います。まずは「人生がときめく片付け」から始めます。



介護サポート ゴールド
 居石 鉄夫

Q1 仕事内容は？
 利用者様の送迎や送迎用の車の点検をしています。

Q2 何年目ですか？
 2年目になります。

Q3 仕事をしていて一番楽しい時は？
 利用者様から笑顔で声をかけてもらった時です。

Q4 趣味は？
 家庭菜園、時間があればドライブにも行っています。

Q5 新年を迎えましたが、今年の抱負は？
 利用者様とご家族が安心できる運転を心掛けて、喜んでいただけるよう努力したいと思います。

◆お詫びと訂正◆
 「こもれび34号」サークル活動紹介(P3)の山口龍一先生の紹介文に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。
 (誤)八女市社会福祉協議会→(正)八女市福祉事務所

まも夕 しまりっ きをま支 ます。お
 す。宜ッ 陽てる生 共、も 1写まりっ きをま支 ます。お
 しフだ い飛 共、共 年、も ス真りま 昨ま迎 援昨す。
 くーま き躍 共、共 年、共 のバのしど 年し えるの も 年 は 年
 お同、 のす。目 謝「共 ン表？年 様。こもり、 様 の
 願今里。指 さら 共 今 紙陽にに 十、 様 の
 い年 ス い 共 今 今 だ だ 四 陽の ござ
 し年 ス い 共 今 今 だ だ 四 陽の ござ

編集後記





新年のごあいさつ

2016年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。

利用者、ご家族、職員、関係者の皆様には輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。日頃より本法人の事業にご理解、ご協力、ご支援を頂いておりますことを重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年の障害者福祉制度は4月に3年に1度行われる障害福祉関係の制度や報酬の見直しが行われ、福祉人材への待遇改善が求められる一方、国の財政が危機的状況下との環境もあり、サービス提供への報酬は制度が始まって以来の実質マイナス改定となりました。

また、年末に向けては障害者総合支援法の制定時に附則としてあった「3年後を目途とする法の見直し」についての議論が進み、その指針が示される予定です。その実現には財政的な裏づけが不可欠であり、「障害者が社会の一員として共に生活する社会を作る」という理想の実現は困難を伴う道であり、障害福祉制度を取り巻く環境はより厳しさを増すであろうことが考えられます。今後はその施策により、障害者を社会の一員とし

認め、共に支え合いながら暮らす社会が実現することを期待いたします。

そして、現在審議中ですが社会福祉法人改革も来年からスタートします。そこでは社会から納得される社会福祉法人としてふさわしい法人活動が求められます。

そのような中、本法人は本年1月21日には開園15年の節目を迎えます。その歴史は開園以来、措置から契約、支援費制度、自立支援法、総合支援法とめまぐるしい法や制度の激変期を経験してまいりました。そして常にピンチをチャンスと考えて、利用者ニーズに常に応える施設づくりを目標として進んでまいりました。

その結果、開園時の30人の小さな入所施設が、現在では住まいの場を提供するサービスの利用者が約50名、地域から利用いただく利用者約90名を超え、障害者福祉の成長の担い手が出来るようになり、八女筑後地区の障害者福祉の発展に貢献することが出来るようになり、常にご利用者の喜びを自らの喜びとする事業風土の醸成が進んでいるからであり、今後も理念に掲げた「共生共感」(共に生

き、共に感謝)の精神を育ててまいります。

そして迎えた本年は、15年の節目を新たなスタートラインと捉えて事業を進めてまいります。昨年11月には、中期5か年計画「2021プラン」を策定しましたが、今後はその具体的な数値プランと第2期、第3期の5か年計画の立案による30周年ビジョンを進めてまいります。今後も利用者本位の理念で、一人ひとりの利用者にとって最良のサービスの実現にチャレンジしてまいります。そのために職員一同と心を一つにして事業を進めてまいりますので、利用者、ご家族、陽だまりの里にかかわる皆様には、本年も変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって最良の年となりますことをお祈り申し上げます。新春のご挨拶といたします。

2016年元旦

社会福祉法人明和会
陽だまりの里
理事長 井上明秀



クラブ活動紹介



陽だまりの里の野球部は、本年度も久留米市田主丸町にて開催された「第10回九州福祉施設交歓野球大会」に参加し、惜しくも準優勝という結果に終わりました。来年度は優勝できるようにチーム一丸となり頑張りたいと思っておりますので、今後とも応援宜しくお願いいたします。



サークル活動紹介



美アップ講座の紹介をさせていただきます。美アップ講座とは、スキンケア・メイク・ネイル・デコアート(持ち物などにキラキラの装飾を施すもの)の4つを楽しむ事が出来るとも楽しいサークルです。このサークルには、おしゃれを楽しみたいと思っている女性の方は勿論、ネイルやメイクに興味がある男性の方にも楽しんで頂いています。

肌が弱くメイクはちょっと…という方にも、低刺激の化粧品を使ってマッサージしていただくスキンケアも体験していただく事が出来ます。たくさんの方に楽しんで頂ける工夫を施した美アップ講座は、陽だまりの里とふらっち広場で受ける事が出来ます。皆さまも、普段なかなか体験出来ないプロの技を受けてみませんか？

福岡トヨペット様より車椅子を寄贈していただきました。

→大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



新しい駐車場ができました。



★ほのぼのフェスタを開催しました★



平成27年10月30日に第11回ほのぼのフェスタを開催いたしました。利用者みなさま、ご家族みなさまの笑顔があふれる、すばらしいフェスタとなりました♪

利用者様紹介
～それから～
カーサ陽だまりの里
橋爪良介様
佐々木静子様
谷口妙子様



今年から学校に通う事になりました。最初は緊張しましたが、担任の先生とも仲良くなり、今では楽しく授業を受けています。これからいろんなことを学んでいきたいです。

中等部1年 佐々木 静子様

6年間学校に通い、いろんな事を学びましたが、その中でも、特に歴史と朗読が興味をもちました。今年が学校生活最後の年となり修学旅行にも行き、楽しい思い出の1つとなりました

高等部3年 谷口 妙子様



修学旅行や宿泊学習がとても楽しかったです。来年は高校受験です！授業も難しくなるとは思います、頑張ります！！

中等部3年 橋爪 良介様



カーサ陽だまりの里の利用者として、学齢超過者支援を利用して筑後特別支援学校に通っています！！

出張報告

第5次全国カーサ陽だまりの里リーダー研修会
カーサ陽だまりの里
柴尾建太郎

ケアガイドラインを活用した演習をメインに行われた研修で、「同性介助」「日中活動」に関する意見や質問が多く、どの施設も抱えている問題は同じであると感じました。それぞれの施設で、問題解決の為に、さまざまな取り組みが実施されており、参考になる意見を聞くことができました。

演習の中で、実行委員の「利用者の方が楽しく、快適に暮らすためには利用者の方が選択できる生活を提供できることだ」というお話を思い出しました。その時、「職員が少なく、初心を思い出す必要はないか」という話を思い出しました。その時、「職員が少なく、入社した頃のように持つていった「利用者の方がした事を改めたい」と感じ、今後実現できるような頑張り

インフルエンザを予防しましょう！

インフルエンザにかからないために…

- 1. 感染経路を防ぐ**
外出からの帰宅時や食事の前など、こまめな手洗いを心がけましょう。アルコール消毒液で手を消毒するのも効果的です。
- 2. 予防接種を受ける**
予防接種は発症の可能性を減らしますし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- 3. 免疫力を高める**
免疫力が弱っていると、感染しやすくなります。また、感染したときに症状が重くなってしまふおそれがあります。普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけましょう。

